

令和5年度第1回 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議の概要

【日時】 2023年（令和5年）7月27日（木）14:00～15:45

【場所】 逗子市役所5階第3会議室

【出席者（敬称略）】

＜メンバー＞仁科座長、水口副座長、松田メンバー（オンライン）、飯田メンバー、
小林メンバー、一條メンバー、古畑メンバー、山崎メンバー、
尾前メンバー（オンライン）、福本メンバー、石井メンバー、佐藤メンバー、
福井メンバー、黒羽経済観光課長

＜アドバイザー＞出石アドバイザー

【欠席者】 三宅メンバー、高松メンバー、岩佐メンバー

【事務局】 企画課 四宮課長

企画係 神山主事（記録）、蔦木主事、渡邊主事補

【傍聴者】 0人

【資料】

- ・ 次第
- ・ 資料1 逗子市まち・ひと・しごと総合戦略等推進会議メンバー名簿
- ・ 資料2 令和5年度 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議スケジュール
- ・ 資料3 令和4年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標）の進捗状況表
- ・ 資料4 令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業実施結果報告
- ・ 資料5 【抜粋】逗子市総合計画基本構想改定及び中期実施計画策定方針
- ・ 資料6 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略策定への対応方針について
- ・ 資料7 新たな総合計画審議会の組織及び進行管理の手法について
- ・ 参考1 令和4年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（具体的施策）の進捗状況表
- ・ 参考2 令和4年度逗子市人口データ集
- ・ 参考3 令和4年度逗子のまちづくりに関するアンケート調査集計結果

1 開会

2 メンバーについて

○事務局から会議メンバーの交代を報告した。

- ・ 田中メンバーが逝去された。
- ・ 市民メンバーとして飯田メンバーが加わった。
- ・ 京浜急行電鉄株式会社からのご参加が、一條メンバーに交代した。

- ・事務局及び市職員メンバーが人事異動により交代した。

3 スケジュールについて

○資料2 令和5年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議スケジュールをもとにスケジュールの確認を行った。

4 令和4年度実施事業に関する効果検証について【意見交換】

(1) 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

○参考1 令和4年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（具体的施策）の進捗状況表を参考にしながら、資料3 令和4年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標）の進捗状況表について、総合戦略の基本目標ごとに全体で意見交換を行った。

○次のような意見交換が行われた。

◆全体

（出石アドバイザー）2022年度まではコロナの影響がいろいろな場面に出ている。2023年度以降の取り組みについて、KPI達成やそれぞれの施策の推進に向けて取り組んでいただきたい。

◆基本目標1

（飯田メンバー）数年前に駅前の産科がなくなってしまったため、市内には産科が1か所しかない。今後、駅前にあった産科をもう1度やり直してもらえるように支援することは考えているか。

（石井メンバー）総合戦略には記載していないが、出産できる医療体制が整っていることが大前提である。これまで市内に2か所の産科があり、他地域に比べて充実していた。昨今、出生数は年300人くらいとなっている。逗葉地域の中でこの出生数だと経営が厳しいのが現状である。もう1院を増やすことについて、市で出産の選択肢を広げるという方向性で市が経営に参加していくのは難しい。また、出産費用を健康保険に入れる方向性となっているが、そうすると収支はさらに悪化する。市内の1院からも、経営は厳しいと聞いている。

（飯田メンバー）産科だけではなく、バランスのよい医療体制づくりを心掛けてほしい。

（水口メンバー）合計特殊出生率の数値について、2021年と2022年が未公表になっているが、何か理由があるか。

（仁科座長）神奈川県衛生統計年報を引用している。令和元年度から2年に1度の公表に変わったため、この数値が最新のものである。

（出石アドバイザー）基本的方向1・具体的施策③のKPI「体験学習施設の主催講座の延べ

参加者数が 2,000 人/年となっている」が目標に対してかなり下回っている。同じように、基本的方向 2・具体的施策③の KPI「子どもを対象にした「共育」の講座に参加する子どもが延べ 10,000 人/年になっている」も KPI に対して現状が約半分になっている。市民の参加、特に子どもの参加が伸びていないのはどういう状況なのか。

(福井メンバー) コロナの影響や、体験学習施設スマイルがワクチン接種会場となっていたため、施設自体使えない部分が多かったという背景がある。これが明けてきたのでより活発な活動にしていきたい。スマイルの在り方自体を検討しているところ。より多くの方が集える場所、講座等を行える場所になるように考えていきたい。

(事務局) 年 2,000 人程度増えていっている。計画期間中でぎりぎり達成できるかどうかという水準で推移している状況であると思われる。

◆基本目標 2

(飯田メンバー) これまで住宅団地ができることによって人が増加してきた。土地がなくなってきたため同じ形での増加が見込まれない中で、どのように人を移住させてくるのか。新しい何かを創出できないかを考えてほしい。逗子高校跡地について、単に団地ではなく、IT 関連スクールなど何か事業を起こすなど、人の流れを作るようなものをぜひ作ってほしい。早めの段階で県に対して手を挙げてほしい。

(仁科座長) 逗子高校跡地は、市街化調整区域で活用しづらい土地である。また、レッドゾーンがあるため完校となった経緯もある。さらに、測量されていない、国有地が入っているなど様々な条件面で難しい土地でもある。今後生かすことができないかを県とやり取りしているところである。

(飯田メンバー) 新しい都市の在り方を検討してほしい。

(一條メンバー) 葉山女子旅きっぷは非常に人気がある。最近はデジタル版の切符を使う人が増えている。紙の切符だとどこに移動しているかが分からなかったが、デジタル版はどのような属性の人がどのような移動をしたかの分析もできる。情報を市にフィードバックしながら有効な施策を打てないか協議していきたい。一方で、バスが混みすぎることによる住民からの苦情も多い。バランスを考えながら逗子市の交流人口増加に向けて努力していきたい。

(出石アドバイザー) コロナ禍でワーケーションの話が出てきた。その後、どのような取り組みをしているか。

(福本メンバー) 市内に企業を誘致するきっかけに展開しようとしていた。令和 4 年度は市内に事務所を設けた実績が 1 件ある。まだ過渡期であり、これまでの状況を見ながら在り方を検討していかなければならない。

(出石アドバイザー) 基本的方向 2・具体的施策①KPI「市 HP のシティプロモーションのページへのアクセスが 35,000 件/年になっている」について、シティプロモーションサイトのアクセス数が 2021 年度に比べて半減しているが、何か分析しているか。

(仁科座長) 昨年度末に市 HP のリニューアルをした。シティプロモーションサイトはリニューアルと関係ないが、なぜアクセス数が減ったかはまだ確認できていない。

(出石アドバイザー) コロナの前後で数値が変動しているものについては、なぜ変動しているかを検証しないと対応方針が出てこない。

(出石アドバイザー) 花火大会など様々なイベントを観光協会で行っている。2022 年度はどのような感想を持っているか。取り組みについて教えていただきたい。

(小林メンバー) 逗子市には素晴らしい観光資源があり、それらを生かした取り組みを年間通して行っている。例えば、小坪漁業協同組合とタイアップして様々なイベントを行った。逗子海岸での NIGHT WAVE には多くの人々が来た。観光客に少しでも商店にお金を落としてもらうことも含めて観光客を増やしたい。まだまだ満足できるどころではなく、これからも素晴らしい観光資源を生かした事業を展開していきたい。

(飯田メンバー) 夏場は観光客が多いが、それ以外での客が課題。海岸映画祭は若い人が多く来ていた。あのような形のものをいかに作ってイけるか。池子の森でのコンサートなど、地道にやってはいるが、面として広がりがない。そこを観光協会が面として広げるバックアップができるか。よいのではないか。

(出石アドバイザー) 基本的方向 2・具体的施策②主な取り組み 6「東逗子地域の活性化を目指した JR 東逗子駅前用地活用事業の推進」について、この取り組みがどのような状況にあるのか。また、JR との関係はどのようになっているか。

(仁科座長) 昨年度、いくつかの公共施設を集約する形での複合的な施設を建設する基本構想を取りまとめたところである。今年度は、市民の皆さまや、集約する公共施設の関係者、関東学院大学の学生と一緒にワークショップを行い、基本計画を策定する予定である。来年度以降設計に入る。施設の規模は今年度の基本計画をベースに考えていく。毎月の朝市やイベントなどで広場が活用されている。駅前でありながら地域の憩いの場になっている。皆さまからご意見を伺いながら、あの広場を生かす形での複合的な施設を作っていきたいと思う。JR との関係について、JR の意見を伺っているところではあるが、様々課題があることから本複合的施設は市の計画として進めていくものである。駅前ロータリーの在り方などは、JR に意見を伺いながら検討を進めている。

◆基本目標 3

(水口副座長) 基本的方向 2・具体的施策①主な取り組み 2「金融機関、商工会等と連携した事業承継の支援」について、令和 4 年度に事業承継の相談を受けて商工会を紹介した実績はあるか。

(黒羽経済観光課長) ここ 2～3 年は相談自体がない。コロナの影響があり、経営が安定している中で後継者を探す、という状況ではなかったと想像される。また、商工会が経営相談員としてお店を巡回し経営状況を聞く中で、事業承継の話があれば聞くと伺っているが、具体的な案件にはなっていないとのことである。

(出石アドバイザー) 基本的方向3・具体的施策②KPI「創業支援事業計画を利用し、創業に至った者が5年間で累計35件になっている」について、コロナが5類になって以降、伸びる見込みがあるか。

(黒羽経済観光課長) コロナ以降伸びている。その要因として、在宅ワークの増加や企業で残業を抑止されていること等による収入減があると思われる。セカンドビジネスとして、ECサイトなど実店舗を構えない形で、リスクの少ない創業にチャレンジする人が増えている。さらに、コロナ禍で低金利の融資制度が創設されたことをチャンスと捉えて創業する人もいる。

(出石アドバイザー) コロナ禍で伸びているのに、創業に至った者が累計13件となっているのは、今後の創業支援として厳しいのではないか。

(黒羽経済観光課長) 商工会で相談窓口を拡大している。その中で、今ある業態を変えたい等の相談が来ている。創業マインドは当初より上がっている。また、起業について、女性からの相談が増えている。従業員を何人も雇うのではなく、自分の手の届く範囲でお店をやってみたいとの相談が多い。また、創業セミナーがオンデマンドで受講できるようになり、敷居が低くなった。

(出石アドバイザー) 金融機関はいかがか。

(山崎メンバー) 創業件数について13件とのことだが、かながわ信金での開業・創業の相談件数はもっと多いと感じている。地元の小売業で新しい仕事を興す人が非常に多い印象である。事業承継については、各事業者の高齢化が進んでいることを顕著に感じている。後継者問題に困っているものの、高齢な経営者自身が事業で苦勞をしているケースが多く、後継者に同じ苦勞をさせたくないという人もいる。逆に言うと、事業が上手くいっている人は後継者へのバトンパスもスムーズにいくと感じている。

◆基本目標4

(出石アドバイザー) 基本的方向4・具体的施策①KPI「地域活動に月に1回以上参加している者の割合が50%以上になっている」がかなり厳しい。2021年度から2022年度にかけて減っているのはコロナの影響か。この目標を掲げて取り組んでいながらなぜそれが伸びていないのか。達成できる見込みがあるのか。

(2) 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告について

○資料4 令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)に係る事業実施結果報告について、事務局が説明した。

○次のような意見があった。

(飯田メンバー) 逗子市が提案したものか。

(事務局) 逗子市単独ではなく、三浦半島地域を県が取りまとめて4市1町で申請をしている。

(飯田メンバー) これまで逗子市がやってきた独自のものをもっと盛り込んでもよかったのではないか。

(事務局) あくまで総合戦略の枠組みの中で考えられている交付金であり、総合戦略に載っている取り組みを推進する事業を挙げるもの。

(飯田メンバー) 市ホームページに、特区に何度も落ちていると載っていた。提案力がないということか。

(事務局) 財源の問題を含めて確認をしている。事業の企画立案をする際は、幅広い視点を持ち、補助金の活用を含めて検討している。

(飯田メンバー) ヒト・モノ・カネがないのではなく、話を聞ける人はたくさんいるはずである。いかに安く提案力を上げていけるかを考えるべき。

(水口メンバー) 事業費はいくらか。

(事務局) 実績額のおよそ2倍である。

5 デジタル田園都市国家構想総合戦略について

○資料5 【抜粋】逗子市総合計画基本構想改定及び中期実施計画策定方針 及び 資料6 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略策定への対応方針について、事務局が説明した。

○本件について、了解された。

6 令和6年度の方針（新たな組織及び進行管理の手法）について

○資料7 新たな総合計画審議会の組織及び進行管理の手法について、事務局が説明した。

○次のような意見があった。

◆新たな組織について

(出石アドバイザー) 住民自治協議会が5名となっているが、現在は逗子小学校区が未設立のため実人数としては4名となるのか。足りない部分はどう取り扱うのか。

(事務局) 欠員としておき、逗子小学校区ができた時点で加わっていただく。

◆進行管理の手法について

○本件について、了解された。

7 その他

○基本目標に対する意見については、事務局で取りまとめ整理し、アドバイザーに確認後、メンバーに確認することとした。意見のまとめは9月の市議会に提出する。

8 閉会